

「平成31年度広島市科学賞」（小学校の部「第57回」）募集要項

1 趣 旨

児童の科学研究を奨励し、その研究を通して、問題解決の能力と科学的な思考力、表現力を育成し、本市理科教育の向上に資する。

2 主 催

広島市教育委員会

3 主 管

広島市小学校教育研究会理科部会、広島市小学校教育研究会生活科・総合的な学習の時間部会

4 共 催

広島ライオンズクラブ 広島市こども文化科学館

5 対 象

広島市小学校児童 1年生～6年生の個人研究、または、共同研究

6 募集作品

(1) 市内の児童の自主的な科学研究の研究記録・製作品等とする。ただし、単なる工作物、模型、採集物、標本等は除く。

(2) 研究記録の作成に用いる用紙の大きさは、A4判（210mm × 297mm）が望ましいが、A3判（297mm × 420mm）を超えないものであれば可とする。

(3) 提出作品については、本市理科教育の推進のため、各種媒体に自由に使用できるものとする。

(4) 提出作品について、次のことに留意すること。

ア 作品は、過去の広島市科学賞及び他のコンテストに出品していないものとする。既に発表したものであっても、新たな発見や解釈が生まれる等の進展が認められる研究であれば出品してよい。ただし、進展している部分を明確にして出品すること。

イ 研究に当たって、第三者の研究・著作物（文献、論文、新聞・雑誌の記事、テレビなどの映像番組、インターネット上のウェブサイト、講演会、インタビューなど）を参考にしている場合は、参考資料として明記すること。

なお、上記ア、イのことに不備がある場合、審査対象外としたり、審査終了後でも賞を取り消したりすることがある。

ウ 市販の図書やインターネット上に掲載されているもの、過去の研究物の丸写しなどは不可とする。

エ 研究物には、次の①～⑧などが、学年に応じて述べられていることが望ましい。

① 研究の動機	② 研究の目的	③ 研究の計画	④ 研究の方法	⑤ 研究の経過
⑥ 研究の結果	⑦ 結果の考察	⑧ 結論		

オ 共同研究については、

⑨ 共同研究として、取り組んだ理由	⑩ それぞれの児童の研究のあしあと
-------------------	-------------------

などが、加えて述べられていることが望ましい。

カ 研究したことの記録・標本などが別にあれば、提出すること。

キ 作品の記録や図表・スケッチなどは、児童自身が記録したものを入れること。デジタルの記録や写真などは、必要に応じて効果的に使用すること。

※ 募集をする際に、「（児童用参考資料）『科学研究』をしてみよう」を児童に配付してください。

7 出品の方法

校内審査 (1次審査)	(1) 出品作品 ① 各学校で1次審査チェックリストを活用し校内審査を行い、観点を満たしている作品について2次審査に出品する。 ② 特に優れているものがあれば学年別名簿の「推薦」欄に○をつける。 (2) 選外（「賞」対象作品） 校内審査で選外になった作品（2次審査に提出しない作品）についても出品点数表にその数を明記する。
作品を出品する際に添付する書類について (4)～(6)については、2部印刷し、作品と一緒に提出すること。	(1) 出品作品 出品作品は学年ごとにたばねて、まとめる。 (2) 別紙1「出品票」（原則、担任等の大人が記入してください。） ① 出品作品（2次審査に提出するもの）にはすべて、出品票を添付する。 ② 一つの作品が2個以上の研究物や資料に分かれている場合には、それぞれに出品票を添付し、個数番号欄に3の1（3個のうちの1個目） 3の2（3個のうちの2個目）のように記入し、一つにまとめて出品する。 ※ 記入・添付に当たっては、別添の出品票、添付上・記入上の注意を参照のこと。 (3) 別紙2「1次審査（校内審査）チェックリスト」（出品票の上に重ねてテープで添付） (4) 様式1「作者者学年別名簿」 ① 学年ごとに、学年別名簿を2部添えて提出する。 ② 学年別名簿の名前は、誤字のないように漢字で正確に記入する。（賞状の原本となるので、正確に記入する。） ③ 漢字には必ずふりがなをつける。 ④ 研究題目は児童の作品の記載（漢字・仮名表記・記号等）と一致すること。 (5) 様式2「共同出品者名簿」 共同出品者が校内にいる場合、名簿に記入して、2部添えて提出する。 (6) 様式3「出品点数表」 ① 各校の学年別出品数と選外作品（2次審査に提出しない作品）数を記入した出品点数表を2部添えて提出する。 ② 出品作品がない場合でも、選外作品がある場合は、出品点数表を提出する。 以上を、学校でまとめて提出する。
各学校より電子メールで送付する書類 作品の有無にかかわらず、必ずメールにて知らせること。	(4)様式1「学年別名簿」 (5)様式2「共同出品者名簿」 (6)様式3「出品点数表」については、 9月5日(木)までに、電子メールで各ブロック担当者まで添付ファイルで送る。 （ファイル名に学校名を入れて送付してください。） 送付先アドレス 1ブロック morimoto078@e.city.hiroshima.jp（矢野西小学校 森本 晃一郎 教諭） 2ブロック doi101@e.city.hiroshima.jp（尾長小学校 土居 洸太 教諭） 3ブロック ooshita-ki27@e.city.hiroshima.jp（石内北小学校 大下 恭平 教諭） 4ブロック takaki10@e.city.hiroshima.jp（川内小学校 高木 靖佳 教諭） ※ 問い合わせ等がございましたら、上記の各ブロック担当者まで連絡してください。
提出期間	令和元年9月3日（火）～9月5日（木） 期間厳守 ※ 期間中、午前8時30分から午後4時30分までに提出してください。
作品提出先	1ブロック 本川小学校（中1 1 TEL 232-3431） 2ブロック 尾長小学校（東1 1 TEL 261-4242） 3ブロック 石内北小学校（佐伯1 9 TEL 941-5007） 4ブロック 川内小学校（安佐南3 TEL 877-0044）

※ 共同研究についての扱い

- ・ 同じ学校の児童が共同で研究を行った場合、上学年に1点だけ出品する。審査は上学年において行う。「作品者学年別名簿」、「出品票」の記入については、記入上の注意を参照のこと。
- ・ 異なる学校の児童が共同で研究を行った場合、それぞれの学校に作品を出品する。（原本以外は複写でも可とする。）審査は上学年において行う。「作品者学年別名簿」、「出品票」の記入については、記入上の注意を参照のこと。

また、それぞれの学校で連絡を取り合い、校内審査の結果について共通理解をもつこと。

8 審査について

- (1) 2次審査・3次審査は、広島市教育委員会、広島市小学校教育研究会理科部会・広島市小学校教育研究会生活科・総合的な学習の時間部会及び大学関係者等が、下記の〔審査の観点〕によって行う。
- (2) この審査は、「広島県科学賞」の出品審査も兼ねる。
- (3) 審査期間 令和元年9月7日（土）～令和元年9月25日（水）

〔審査の観点〕

（第1学年～第3学年）

- ① 児童自身が研究し、記録したものであるか。
- ② 研究の動機や目的があるか。
- ③ 計画や方法があるか。
- ④ 正しく、くわしく、根気よく見ているか。
- ⑤ 実験、観察などの仕方を、工夫しているか。
- ⑥ 研究の要点を落とさないで、わかりやすく記録してあるか。
- ⑦ 結論は、研究の結果から考察し、導出しているか。

（第4学年～第6学年）

- ① 児童自身が研究し、記録したものであるか。
- ② 研究の動機や目的がはっきりしているか。
- ③ 計画や方法がすぐれているか。
- ④ 実験、観察などが根気よくできているか。
- ⑤ 研究をよりの確にするため、比較実験・観察などを有効に取り入れているか。
- ⑥ 記録がくわしく正確であるか。
- ⑦ 結果のまとめ方に工夫がなされているか。
- ⑧ 結論は、研究の結果から考察し、導出しているか。

共同研究について（上記観点に加えて）

- ① 共同研究として取り組んだ理由が述べられているか。
- ② それぞれの研究者が、どのように研究に関わっているかが明らかとなっているか。
- ③ 共同で行った研究として、ふさわしい内容となっているか。

9 表彰

(1) 賞の種類

- ア 教育長賞 優秀賞 → 「広島市科学賞授賞式」における授賞対象となります。特に優れた作品については「広島県科学賞」に作品を出品します。
- イ 優良賞 → 2次審査において優良と認められた作品です。
- ウ 佳良賞 → 2次審査において佳良と認められた作品です。
- エ 賞 → 1次審査、2次審査において賞と認められた作品です。

(2) 授賞式

期日： 令和元年11月30日（土）場所：広島市青少年センター

※ 中学校の部と合同で、全市一斉で一つの会場で授賞します。

10 備考

出品票は、添付したものをもとにして複写して使用してください。

※ お願い 2次審査日〈9月7日（土）〉には、各校1名は必ず審査に参加してください。

広島市科学賞優秀賞、教育長賞に選出された作品は、一部、広島県科学賞に出品するとともに、広島市こども文化科学館で行われる科学研究作品展〔12月7日（土）～12月22日（日）〕に展示します。そのため作品の返却が遅くなりますのでご了承ください。